

◆きっかけ◆仔鹿園には、発達に遅れのあるお子さんが通われており、突発的な動きをするお子さんもおられます。職員間で日頃十分に情報を共有し、安全面には配慮していますが、以下の3つの点から今回の研究を行うきっかけになりました。



1 新年度が始まり“ヒヤリ・ハット”の報告が数件あがる。



2 施設の老朽化により、設備の見直しを必要としていた。



3 職員全体で園内の危険箇所を確認したいという意見が職員よりあがる。

(※毎年、遊具点検係が年に3回程園内の設備を確認することは行っています)

<取り組みの流れ>

①各部署、各クラスに園内の危険箇所を確認してもらい、資料を作成する！



職員間で情報を共有し、意見交換を行う

②過去に起こった“ヒヤリ・ハット”の内容を確認し、どのような内容があったかを調査する！



まとめた内容は冊子にして職員全員が確認できるようにしています。



③改善箇所をピックアップ(今回は2箇所取り上げました。)

プール周辺のフェンス

★足のかけ場所がないフェンスを使用していたが、今年度に入り子どもが1人フェンスを越えてプール側に入ってしまうことがあった為、命の危険性もあると考え、フェンスにアクリル板を設置。



廊下に合った遊具の整理

★保育室に近い場所で、出し入れを優先して置いてしまっていた遊具があった。しかし、子ども達が部屋を移動する際に使用する為、整理をして歩きやすいスペースを確保。



◆日頃から注意しなければいけないと感じた箇所◆

- ★扉の取っ手の高さが子どもたちの頭の高さにあるものは、クッション材を巻いて事故を防いでいく。
- ☆換気の為、廊下の窓を開けているがテラスと繋がっていることから、すり抜けて出てしまわないよう、窓は閉める。
- ★テラスの止水栓を開けて指を挟んでしまわないようにマットを敷く。害虫などが出ないように日頃から子どもたちのいない時に点検する。
- ☆車が入りやすいように園門を開けていることが多いが、子どもたちの飛び出しや、不審者の侵入を防ぐためにできるだけ閉める。

研修を終えた職員の感想

- 園児や職員の安全に関する内容で、ある意味もっとも重要な研修内容だと思う。
- 見直す機会は定期的に必要だと思う。
- 検討しなければいけないところは、うやむやにせずにもた話し合いができたらいいなと感じる。などの意見が出ました！

今後の課題

- ◆敷地内会議を定期的に行う。その中で意見を出し合い、引き続き修復箇所を検討する。
- ◆職員全員が見直しできる場を設け、一人一人が危険箇所に対しての意識を持てるようにする。また、意見を出し合える機会を設けるようにする。
- ◆遊具の安全管理の研修を受講し、遊具の点検の際に活用する。